

平成29年度

越前市当初予算

事業概要書

平成29年度当初予算 事業概要書

No.	所属	事業名称	予算書
1	政策推進課	ふるさと納税推進事業	P79
2	建築住宅課	まちなか住宅支援事業／住宅支援事業	P167 P169
3	市民課	戸籍住民基本台帳一般事務費	P91
4	まちづくり・総合交通課	本庁舎建設事業	P87
5	まちづくり・総合交通課	複合施設（今立総合支所）建設事業	P87
6	まちづくり・総合交通課	北陸新幹線南越駅周辺整備事業	P81
7	スポーツ課	スポーツ施設管理運営事業（体育館完成記念イベント）	P201
8	都市計画課	単独公園整備事業	P165
9	情報統計課 子ども福祉課	庁内情報システム管理事業（子育て世代をターゲットにした情報発信）／ 次世代育成支援対策推進事業（子育て支援情報アプリ）	P85 P113
10	子ども福祉課	ひとり親家庭等自立支援事業（ひとり親家庭児童の学習支援事業）	P117
11	健康増進課	健康診査事業/国民健康保険特定健康診査等事業	P129 P269
12	文化課	文化財収蔵施設改修事業（和紙道具収蔵のための施設改修に要する経費）	P195
13	産業政策課	工芸の里構想推進事業（打刃物拠点施設整備事業）	P149
14	産業政策課	紙の文化博物館展示事業	P151
15	商業・観光振興課	たけふ菊人形事業	P153
16	商業・観光振興課	商業活性化支援事業（重点エリア商業活性化事業）	P147
17	商業・観光振興課	観光推進事業	P155
18	商業・観光振興課	万葉の里管理運営事業	P153
19	情報統計課	庁内情報システム管理事業（タブレット端末整備に要する経費）	P85

※ 事業概要書は、新規の予算事業及び既存予算事業の中で、新たな制度の創設や新たな事業展開などによる新規経費を対象とし、事業費が100万円以上のものを適宜掲載しています。

平成29年度 事業概要書

着実な事業推進と魅力向上で、ふるさと納税の寄附額1億円を目指す

事業名	ふるさと納税推進事業	担当課	政策推進課
会計	一般会計	費目	総務費
予算書	予算書	予算書	P79
まちづくりの5本の柱	5. 市民が主役のまちづくり		

1. 事業の目的・効果

○事業の目的
ふるさと納税を推進することで財源を確保し、持続可能な市財政基盤の確立に貢献する。

○効果
・越前市の事業推進に必要な財源の確保
・取組みの推進による、本市のまちづくりのPRや返礼品による産業振興

○現況
さらなるふるさと納税推進のため、平成28年11月10日に従来の取組みを一新。
株式会社JTBにふるさと納税推進事業についての業務委託を行い、ふるさと納税推進に係る業務効率化を図るとともに、お礼の品の充実など、ふるさと納税推進のための様々な取組みを実行している。結果、大幅に寄附額が増加している。

○課題
平成28年度は、県内他市町も同様にふるさと納税推進のための取組みを大幅に強化しているため、現状に満足しこれ以上の推進をしなければ、他の自治体に遅れをとり、寄附額を上回る減税額が発生しないとも限らない。また、返礼品についても、本市の実力からすれば大いに拡張の余地があることから、拡充を進める。

2. 事業の概要

ふるさと納税のお礼の品のさらなる充実を図り、本市ふるさと納税への魅力を高め、平成29年度は、ふるさと納税寄附額1億円を目指す。

○伝統的工芸品の各組合や商工会議所・観光協会等の団体と連携し、効率よくお礼の品の数を増やしていく。
○市民の方のアイデアをお礼の品に取り入れるための「市民提案制度」や魅力ある商品を提案できる事業者を募集する「事業者提案制度」の周知に努め、その制度活用によりお礼の品を増やしていく。
○株式会社JTBと連携をし、旅行商品やその他の返礼品の開発等を行い、魅力的なお礼の品を増やしていく。
○お礼の品の「鮮度」を保つため、お礼の品の入替を行い、「売れ筋」を増強させていく。
○平成29年7月までに「売れ筋」のお礼の品を常時120種類まで、平成29年11月までに150種類まで増加させる。
○クラウドファンディングは、越前市のまちづくりをPRできる新たなプロジェクトで、寄附を募集していく。

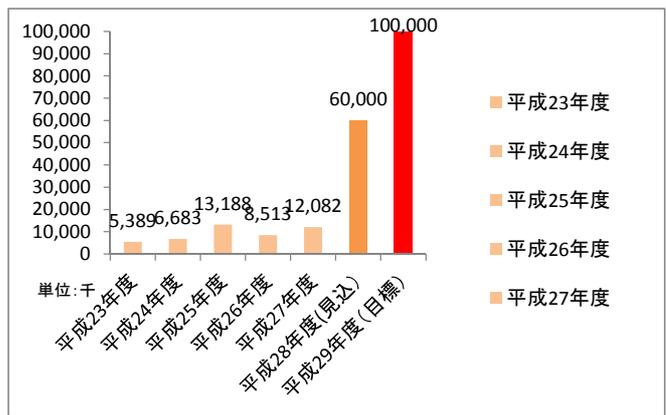
3. 経費

歳入 100,300千円	歳入（寄附額）の内訳 ふるさと納税 100,000千円 クラウドファンディング 2,000千円 企業版ふるさと納税 1,000千円	平成28年4月～12月実績：45,216千円 平成28年12月実績：2,314千円
歳出 43,667千円	謝礼 30,600千円 委託料 9,855千円 その他 3,212千円	

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	金額 (千円)				財源の内訳 (千円)
	金額 (千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
査定額	43,667				43,667

返礼品のさらなる拡充等により、寄附額1億円を目指す！

写真・イラスト等



平成29年度 事業概要書		定住化促進に支援施策を拡充				
		事業名	まちなか住宅支援事業／住宅支援事業	担当課	建築住宅課	
会計	一般会計	費目	土木費	予算書	P167/169	
まちづくりの5本の柱	3. 快適で住みよいまちづくり					
1. 事業の目的・効果						
将来的な人口減少・少子高齢時代を向える中、効率的・効果的な行政運営やまちづくりを進めるため、市総合戦略、第3期市中心市街地活性化基本計画及び市立地適正化基本計画に基づき、市内への転入、まちなか居住の推進や転出防止策として、住宅の取得支援や空き家などの既存ストック活用支援等の各種住宅施策等を図り、定住を促進する。						
2. 事業の概要						
【居住の推進】						
①多世帯同居・近居住まい推進事業：新たに直系親族と同居するために住宅をリフォームする場合又は直系親族と同一小学校区内又は直線1km以内に新たに住宅を取得する場合にリフォーム費又は購入費を補助する。						
②U・Iターン者・子育て世帯空き家住まい支援事業：U・Iターン者又は子ども1人以上の世帯が、住まい情報バンクに登録された家を購入又は賃貸借する場合に購入費又はリフォーム費を補助する。						
③空き家解体支援事業：建築から25年以上経過し、1年以上空き家になっている住宅を解体し、1年以内に土地を売却又は住宅を建築する場合に解体費を補助する。						
④住宅取得支援事業：居住誘導区域内で、40歳未満の人が住宅を取得する場合に取得費を補助する。						
⑤従業員用共同住宅建設支援事業：用途地域内等の定められた区域内で市内法人等が従業員用の共同住宅を4戸以上建設する場合に建設費を補助する。						
⑥住宅用地等購入資金利子補給金：居住誘導区域内の公有地等を借入金を利用して購入し、3年以内に住宅を建築した場合に利子を補給する。						
⑦空き家等リフォーム支援事業：居住誘導区域内で建築から10年以上経過し、半年以上空き家となっている住宅を売買・賃貸を目的にリフォームする場合にリフォーム費を補助する。						
⑧住宅団地整備事業：居住誘導区域内の区画整理済地で5戸（1,000㎡）以上の住宅団地を整備する場合に整備費を補助する。						
【まちなか居住の推進】						
⑨まちなか住宅団地整備事業：中心市街地内で2戸（330㎡）以上の住宅団地を整備する場合に整備費を補助する。						
⑩まちなか空き家等リフォーム支援事業：中心市街地内で建築から10年以上経過し、半年以上空き家となっている住宅を売買・賃貸を目的にリフォームする場合にリフォーム費を補助する。						
⑪まちなか住宅取得支援事業：中心市街地内で、住宅を取得する場合に取得費を補助する。						
⑫まちなか優良共同住宅整備事業：中心市街地内で、家族向け住戸が4戸以上ある共同住宅を整備する場合に整備費を補助する。						
3. 経費						
【居住の推進(住宅支援事業)】						
① 多世帯同居・近居住まい推進事業補助金 12,100千円						
② U・Iターン者・子育て世帯空き家住まい支援事業補助金 2,000千円						
③ 空き家解体支援事業補助金 3,000千円						
④ 住宅取得支援事業補助金 40,000千円						
⑤ 従業員用共同住宅建設支援事業補助金 10,000千円						
⑥ 住宅用地等購入資金利子補給金 3,600千円						
⑦ 空き家等リフォーム支援事業補助金 2,500千円						
⑧ 住宅団地整備事業補助金 5,000千円						
【まちなか居住の推進(まちなか住宅支援事業)】						
⑨ まちなか住宅団地整備事業補助金 3,000千円						
利子補給金 1,024千円						
⑩ まちなか空き家等リフォーム支援事業補助金 5,000千円						
⑪ まちなか住宅取得支援事業補助金 5,000千円						
⑫ まちなか優良共同住宅整備促進事業補助金 15,000千円						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	①② ③ ⑨～⑫	国 45% 県 27.5% 国 40% (1,000千円のみ) 国 40%	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			
予 算 額	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	107,224	17,945	3,877			85,402
写真・イラスト等	<p>まちなか ・まちなか優良共同住宅整備支援</p> <p>居住誘導区域 ・住宅取得支援 ・空き家リフォーム支援 ・住宅団地整備支援 ・公有地購入支援 ・従業員用共同住宅整備支援</p> <p>郊外 ・多世帯同居・近居支援 ・U・Iターン者空き家住まい支援 ・子育て世帯空き家住まい支援 ・空き家解体支援</p>					

平成29年度 事業概要書

暮らしに便利 個人番号カードとコンビニ交付

事業名	戸籍住民基本台帳一般事務費	担当課	市民課
会計	一般会計	費目	総務費
予算書			P91
まちづくりの5本の柱	3. 快適で住みよいまちづくり		

1. 事業の目的・効果

平成28年1月から個人番号カードの交付が開始され、国や市でも個人番号カードの多目的利用を推進している。その一環として、平成29年度から個人番号カードを利用した証明書のコンビニ交付を開始し、市民の利便性向上と窓口の混雑緩和を図る。コンビニ交付の利用率を向上させるためには個人番号カードの普及が必要不可欠であるとともに、個人番号カードの将来の多目的利用を見据え、カードの普及促進を図っていく。

2. 事業の概要

1. 個人番号カード申請の促進

- ・ 企業を訪問し従業員等へのカード取得へ協力依頼を行う。
- ・ 地区公民館、自治会、各種団体及び各種イベントに出向いて、カード申請の受付を行う。
- ・ 平成30年3月の自動交付機の廃止を控え、たんなんカード保有者に対し、個人番号カードへの切り替えを促す。

2. 個人番号カードのスムーズな交付

- ・ 申請されたカードは市に届けられるため、市は申請者に対して交付通知書を発送し、市の窓口で交付を行う。
- ・ 毎週火・金曜日夜間と毎月第2土・日曜日にも交付窓口を開く。

3. 個人番号カードを利用したコンビニ交付の開始

- ・ 発行可能な証明書 住民票の写し、印鑑登録証明書、納税証明書、資産証明書、所得証明書、戸籍謄抄本、戸籍の附票
- ・ 利用可能時間 午前6時30分～午後11時

3. 経費

証明書広域交付負担金	3,726千円のうち3,000千円(コンビニ交付負担金)
個人番号カード等関連事務交付金	8,244千円
その他(人件費、通信運搬費、手数料ほか)	3,412千円
計	14,656千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	個人番号カード交付事業費補助金 8,244千円 個人番号カード交付事務費補助金 2,252千円	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	特別交付税 コンビニ交付負担金の1/2 コンビニ交付手数料の1/2			
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	14,656		10,496			4,160

写真・イラスト等



マイナンバーカードのイメージ



イベント会場でのマイナンバーカード
臨時受付窓口



コンビニ交付の画面及び
交付風景

平成29年度 事業概要書		基本計画のスケジュールに基づき、本庁舎を建設				
		事業名	本庁舎建設事業		担当課	まちづくり・総合交通課
会計	一般会計	費目	総務費		予算書	P87
まちづくりの5本の柱		3. 快適で住みよいまちづくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>本庁舎建設基本計画のスケジュールに基づき、平成31年10月末までに本庁舎を建設する。 (平成29年度は本庁舎の建設工事を着工する)</p>						
2. 事業の概要						
<p>平成29年に建設工事及び工事監理業務委託の契約を行い、平成31年10月末までに本庁舎建設を完了する。 そのため、当該工事費及び工事監理業務委託料を平成29年度から平成31年度までの継続費とする。 <スケジュール> H29. 4月 ~ 本庁舎建設工事 発注準備 (業者選定・入札手続き) H29. 8月 ~ 本庁舎建設工事 着工 (~H31年10月末) 本庁舎建設工事監理業務委託 契約 (~H31年10月末)</p>						
3. 経費						
<p>①工事監理業務委託 9,288千円 【継続事業】：平成29年度～平成31年度 【事業費】：34,500千円 (H29:9,288千円、H30:15,924千円、H31:9,288千円)</p> <p>②建設工事費 738,849千円 【継続事業】：平成29年度～平成31年度 【事業費】：5,832,000千円 (H29:738,849千円、H30:2,966,996千円、H31:2,126,155千円)</p> <p>平成29年度当初予算額 ①+②=748,137千円 【継続費合計】 34,500千円+5,832,000千円=5,866,500千円</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			合併特例債 (充当率95%) 庁舎建設基金繰入金	
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	748,137			710,700	37,437	
写真・イラスト等	 <p>本庁舎 南東側からの外観イメージパース</p>					

平成29年度 事業概要書		基本計画のスケジュールに基づき、複合施設（今立総合支所）を建設				
		事業名	複合施設（今立総合支所）建設事業		担当課	まちづくり・総合交通課
会計	一般会計	費目	総務費		予算書	P87
まちづくりの5本の柱		3. 快適で住みよいまちづくり				
1. 事業の目的・効果						
今立総合支所建設基本計画のスケジュールに基づき、平成30年8月末までに複合施設（今立総合支所）を建設する。						
2. 事業の概要						
<p>平成28年度末に建設工事及び工事監理業務委託の契約を行い、平成30年8月末までに複合施設（総合支所）建設を完了する。そのため、当該工事費及び工事監理業務委託料を平成28年度から平成30年度までの継続費とする。</p> <p>〈スケジュール〉</p> <p>H29. 1月～ 複合施設（今立総合支所）建設工事 発注準備（業者選定・入札手続き）</p> <p>H29. 3月末～ 複合施設（今立総合支所）建設工事 着工（～H30年8月末）</p> <p>複合施設（今立総合支所）建設工事監理業務委託 契約（～H30年8月末）</p>						
3. 経費						
<p>①建設工事監理委託費 11,400千円 【継続事業】：平成28年度～平成30年度 【事業費】：18,100千円（H28:0千円、H29: 11,400千円、H30: 6,700千円）</p> <p>②建設工事費 419,400千円 【継続事業】：平成28年度～平成30年度 【事業費】：804,200千円（H28:0千円、H29:419,400千円、H30:384,800千円）</p> <p>平成29年度当初予算額 ①+②=430,800千円 【継続費合計】18,100千円+804,200千円=822,300千円</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		其他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			合併特例債（充当率95%） 庁舎建設基金繰入金	
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	430,800			409,200	21,600	
写真・イラスト等	 <p>複合施設(今立総合支所) 南西側からの外観イメージパース</p>					

平成29年度 事業概要書

南越駅周辺整備に係る測量設計等および土地の取得

事業名	北陸新幹線南越駅周辺整備事業	担当課	まちづくり・総合交通課
会計	一般会計	費目	総務費
		予算書	P81
まちづくりの5本の柱	3. 快適で住みよいまちづくり		

1. 事業の目的・効果

平成27年12月に策定した「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画」に基づき、平成35年春開業予定の北陸新幹線の南越駅（仮称）の周辺（駅前広場・P&R駐車場・周回道路・道の駅としての施設（観光交流センター）・東口広場・多目的広場）整備を行う。

2. 事業の概要

- H29.4～：土地鑑定評価・用地測量業務
駅前広場、パークアンドライド駐車場、周回道路、観光交流センター、東口広場、多目的広場の土地鑑定、用地測量を行う。
- H29.4～：駅前広場詳細設計
駅前広場の詳細設計を行う。
- H29.10～：用地取得
駅前広場、パークアンドライド駐車場、周回道路、観光交流センター、東口広場、多目的広場の用地を取得する。

※参考（施設面積）①駅前広場 A≒4,900㎡ ②パークアンドライド駐車場 A≒13,000㎡ ③周回道路 A≒7,900㎡、
④観光交流センター A≒4,700㎡ ⑤東口広場 A≒400㎡ ⑥多目的広場 A≒6,200㎡

3. 経費

【測量設計委託料：17,770千円】
 (内訳)・南越駅（仮称）周辺整備用地土地鑑定評価業務委託 970千円
 ・南越駅（仮称）周辺整備用地測量委託 12,500千円
 ・駅前広場詳細設計業務委託 4,300千円
 【土地取得費：730,930千円】
 (内訳)・南越駅（仮称）周辺整備用地補償 730,930千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	<ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金（道路事業） 補助率：55% 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 補助率：40% 北陸新幹線三駅周辺整備促進事業補助金 補助率：市負担額の1/2以内（上限3億円） 	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	<ul style="list-style-type: none"> 公共事業等債 充当率：90% 社会基盤整備基金繰入金
-------------------------------	--	-----------------------------	---

	金額 (千円)	財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
予算額	748,700	377,885	82,080	259,700	29,035	

南越駅周辺整備計画図



写真・イラスト等

平成29年度 事業概要書		アメイジング!スポーツ&カルチャーin越前市				
		事業名	スポーツ施設管理運営事業 (体育館完成記念イベント)		担当課	スポーツ課
会計	一般会計	費目	教育費		予算書	P201
まちづくりの5本の柱		3. 快適で住みよいまちづくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>武生中央公園体育館の完成（平成29年8月）を機に、完成記念イベントをH29.8月～12月にかけて開催し、多くの市民に新体育館の完成を広く周知するとともに、親しまれ利用しやすい体育館を目指す。</p>						
2. 事業の概要						
<p>平成29年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 8月18日（金） 落成式 ① 8月19日（土）～20日（日） 第70回全国競技かるた福井大会（サブアリーナ） ② 8月26日（土）～30日（水） フェンシングナショナルチーム合宿（メインアリーナ） ③ 9月 2日（土）～ 3日（日） 日本女子フットサルリーグ・デフフットサルエキシビジョンマッチ（メインアリーナ） ④ 10月14日（土）～15日（日） バスケットボール女子日本リーグ（メインアリーナ） ⑤ 12月10日（日） 大阪桐蔭高校吹奏楽部演奏会（全日本吹奏楽部コンクール金賞校、メインアリーナ） 						
3. 経費						
<p>事業費4,874千円 （バス運行委託料965千円、イベント運営委託料3,544千円、印刷製本費300千円、機器借上料1,945千円のうち65千円）</p> <p>【内訳】①第70回全国競技かるた福井大会 バス運行委託料等300千円 ②フェンシングナショナルチーム合宿 イベント運営事業委託料1,344千円、バス運行委託料385千円、機器借上料65千円 ③日本女子フットサルリーグ・デフフットサルエキシビジョンマッチ バス運行委託料140千円、イベント運営委託料700千円、印刷製本費150千円 ④バスケットボール女子日本リーグ バス運行委託料140千円 ⑤大阪桐蔭高校吹奏楽部演奏会 イベント運営事業委託料1,500千円、印刷製本費150千円</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		大阪桐蔭高校吹奏楽部演奏会入場料 960千円		
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
予 算 額	4,874			960	3,914	
写真・イラスト等	 <p style="text-align: right;">新体育館 外観イメージ</p>					

平成29年度 事業概要書

にぎわい・憩いの拠点づくり より利用しやすい武生中央公園へ！

事業名		単独公園整備事業		担当課	都市計画課
会計	一般会計	費目	土木費	予算書	P165
まちづくりの5本の柱		3. 快適で住みよいまちづくり			

1. 事業の目的・効果

- ・武生中央公園 武生中央公園再整備のシンボルとして、かこさとし氏から寄贈を受けた絵画を文化センター西側に壁画として設置し、絵本の世界の具現化を図る。
- ・武生東運動公園 平成30年の福井国体（ソフトボール競技）に向け、老朽化している施設の改修を行い、施設利用者の利便性の向上を図る。
- ・日野川河川緑地 イベントの開催や、バーベキューエリアの設置に伴い増加する利用者の要望に対応するため、給排水設備と駐車場を整備し利便性の向上を図るとともに、中心市街地の活性化につなげる。

2. 事業の概要

- ・武生中央公園 文化センター壁画設置工事 8,000千円（武生中央公園再整備のシンボルとして、かこ氏寄贈の壁画を設置）
- ・武生東運動公園 歩道舗装改修工事等 10,000千円（老朽化した歩道舗装の改修、ソフトボール場出入口の改修、駐車場区画線の設置）
- ・日野川河川緑地 駐車場整備工事等 22,000千円（駐車場の整備、給排水設備の設置）

3. 経費

公園整備工事費 40,000千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	-		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		一般単独事業債（75%） まちづくり事業基金繰入金 7,000千円 社会基盤整備基金繰入金 1,000千円	
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	40,000			24,000	8,000	8,000

写真・イラスト等



子育てどんとこい！越前市（マイナンバーカードの利活用）						
平成29年度 事業概要書		事業名	庁内情報システム管理事業 （子育て世代をターゲットにした情報発信） /次世代育成支援対策推進事業 （子育て支援情報アプリ）	担当課	情報統計課 /子ども福祉課	
会計	一般会計	費目	総務費/民生費	予算書	P85/P113	
まちづくりの5本の柱		2. 元気な人づくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>目的 子育て世代をターゲットにした情報発信、マイナンバーカードを活用した利便性向上（子育てワンストップ）を推進し、子育て情報、観光、防災などに拡張していく。</p> <p>効果 子育てに関わる大人へ情報発信をするため、パソコンやスマホによる情報収集や、インターネット上での手続きを容易にできる環境を整備し、マイナンバーカードのさらなる普及促進を進める。</p>						
2. 事業の概要						
<p>1. 子育てポータルサイトの構築（オープンデータを活用した情報発信）</p> <p>（1）子ども福祉課 児童手当や児童扶養手当の給付情報、保育園等の子育て支援施設情報、子育て支援制度関連情報</p> <p>（2）健康増進課 母子検診情報、予防接種情報</p> <p>（3）都市計画課 公園の情報</p> <p>（4）生涯学習課、教育振興課、図書館等 子育て関連のイベント情報</p> <p>2. 子育てに関する周辺情報のスマホへの配信</p>						
3. 経費						
<p>【庁内情報システム管理事業】情報機器設定業務委託料57,831千円のうち3,000千円 子育てポータルサイト導入費用 3,000千円（次年度以降の保守費用 519千円/年）</p> <p>【次世代育成支援対策推進事業】電算委託料2,000千円 子育てに関する周辺情報のスマホへの配信 構築費用 2,000千円</p>						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		国庫：地域少子化対策重点推進交付金（1/2）1,000千円		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		
		財 源 内 訳 (千円)				
		金額 (千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
予 算 額		5,000	1,000			4,000
写真・イラスト等		<p style="text-align: center;">市ホームページのコンテンツ ⇒ 既存データを活用し、スマホに最適化したサイトを整備</p>				

平成29年度 事業概要書

ここで止めたい貧困の連鎖！学習支援で拓がる未来

事業名	ひとり親家庭等自立支援事業 (ひとり親家庭児童の学習支援事業)	担当課	子ども福祉課
会計	一般会計	費目	民生費
予算書		予算書	P117
まちづくりの5本の柱	2. 元気な人づくり		

1. 事業の目的・効果

親子ともに勉強より生活の方が優先となり、家庭学習の定着が困難な状況にあるひとり親家庭等の児童に対し、基礎学力を身に付け、学習意欲を高める支援を行う。現在の就職情勢は、高卒以上の資格がなければ正規社員として就労することは厳しい状況にあり、学習支援は、貧困の連鎖を防止することにつながり、ひいては当市の労働人口の増加にもつながる。

2. 事業の概要

ひとり親児童等に対し、福祉健康センターに会場を設け、教員OB等有資格者の有償ボランティアによる学習支援を実施。運営は母子寡婦福祉連合会へ委託。子ども・子育て総合相談室に支援コーディネーターを配置。
 ○対象児：ひとり親家庭の児童（発達障害や学習障害等特別支援が必要な児童を含む）
 ○開催数：年間150回（週2回及び長期休暇等）原則1人週1回（1時間～1時間30分）
 ○定員：1回あたり児童15人程度、ボランティア5人程度
 ○開催時間：放課後17時～20時頃まで
 ○広報方法：ひとり親世帯への通知、母子寡婦福祉連合会による声かけ、市広報、ホームページ等で募集
 ○その他：会場までの送迎は保護者等が実施

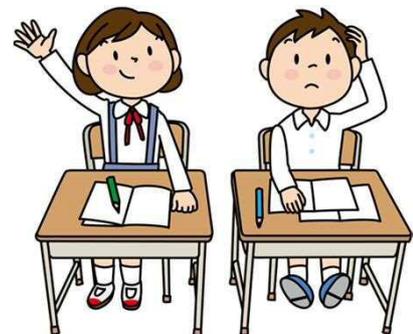
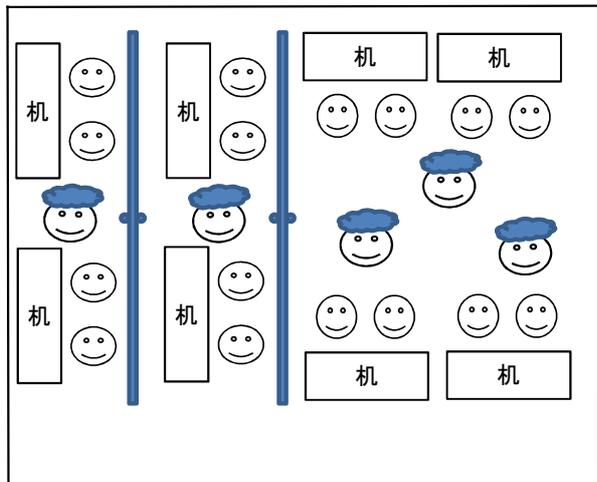
3. 経費

学習支援事業委託料(母子寡婦福祉連合会) 1,683千円
 その他 1,517千円
 計 3,200千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	3,200千円×3/4=2,400千円 (ひとり親家庭等生活向上事業県補助金 補助率3/4)	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】				
	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	3,200		2,400			800

【 学習支援イメージ 】

写真・イラスト等



平成29年度 事業概要書

特定健診・がん検診の受診率の向上のために無関心層へアプローチ

事業名	健康診査事業/国民健康保険特定健康診査等事業	担当課	健康増進課
会計	一般会計/国保特別会計	費目	衛生費/保健事業費
予算書			P129/P269
まちづくりの5本の柱	2. 元気な人づくり		

1. 事業の目的・効果

目的：がん・生活習慣病を早期発見し、早期治療につなげることで市民の健康を守り、医療費の増加を抑制する。

課題：受診率向上のため、自己負担金の見直し、通知方法の改良、未受診者対策を行う。

2. 事業の概要

一般会計・・・市民を対象としたがん検診等の実施、後期高齢者を対象とした健康診査の実施
 国保特別会計・・・国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査の実施

- 変更① 健康診断の自己負担金を500円に統一し、若い世代からの受診を促す。【75歳以上・生活保護受給者は無料】
- 変更② 健康診断・がん検診受診券のレイアウトをわかりやすく変更し、受診者増につなげる。
- 変更③ がん検診受診券の送付対象者を節目年齢（41・46・51・56・61歳及び65歳以上）とし、それ以外の希望者は申込制とする。

新規① 「スマホでドック」の実施

特定健診未受診者の生活習慣病重症化を防いで健診に繋ぐため、スマートフォンで申し込み、自宅で検査が可能な簡易健診を導入（自己負担金 500円）
 対象 2年間健診を受診していない国民健康保険被保険者（40歳代に対して通知文送付、50歳以上はHP等で申し込み可能）

3. 経費

委託料	108,079千円
1. 健康診査事業	25,344千円
2. がん検診事業	79,548千円
3. がん検診受診勧奨	500千円
4. 受診券作成業務	2,687千円
その他	6,328千円
計	114,407千円

委託料	37,159千円
1. 特定健診事業	33,993千円
2. 情報提供事業	775千円
3. スマホでドック	491千円
4. 受診券作成業務	1,900千円
その他	4,659千円
計	41,818千円

合計：156,225千円

一般会計 国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	①新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業国庫補助金1,583千円（1/2） ②がん検診受診者拡大事業県補助金 451千円（1/2） ③検診受診率アップ推進事業県補助金 3,164千円（1/2） ④健康増進事業県補助金 1,322千円（2/3）	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	①後期高齢者保健事業受託事業収入 23,380千円 ②胃がん等検診実費徴収金 2,470千円
国保会計 国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	①特定健康診査等国庫補助金6,297千円（1/3） ②特定健康診査等県負担金6,297千円（1/3） ③がん検診受診者拡大事業県補助金 739千円（1/2）	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	

	金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額：一般会計	114,407	1,583	4,937		25,850	82,037
予算額：国保会計	41,818	6,297	7,036			28,485

病気の早期発見・早期治療
健康に無関心な層へのアプローチ

健やかで元気に暮らせるまちづくり

【手段】
自己負担金を安価にする。料金体系をわかりやすくする
 ピロリ菌検査の導入（H27～）
 胃カメラ検査の導入（H28～）
 スマホでドックの導入（H29～）
 休日健診の実施。医療機関健診のPR(継続)

写真・イラスト等

生活習慣病の増加
高齢化の進行
医療費の増大

平成29年度 事業概要書

今立歴史民俗資料館を収蔵庫に改修し、重要文化財を適正に管理

事業名	文化財収蔵施設改修事業 (和紙道具収蔵のための施設改修に要する経費)	担当課	文化課
会計	一般会計	費目	教育費
予算書		予算書	P195

まちづくりの5本の柱 3. 快適で住みよいまちづくり

1. 事業の目的・効果

「越前和紙の製作用具及び製品」2,523点は、平成26年に国の重要有形民俗文化財に指定され、今立歴史民俗資料館の収蔵庫、展示室において収蔵している。しかし、資料館は温度湿度管理ができないなど、文化財の保管には不適切な状況となっている。また、指定を行った文化庁からは収蔵庫の整備を求められている。このため、資料館及び今立図書館の一部の展示室、収蔵庫を改修し、貴重な歴史遺産を適切に保存するための施設の整備を行う。

2. 事業の概要

国指定の重要有形民俗文化財「越前和紙製作用具及び製品」等を適切に保存管理するために、今立歴史民俗資料館及び今立図書館の一部を改修し、専用収蔵庫として活用する。また、今立総合支所周辺を構成する文化ゾーンの一部として、重要文化財の保存施設の存在がゾーン全体の格調を高める。

○改修工事概要（施設改修工事費125,370千円のうち125,348千円）
 歴史民俗資料館・・・現在の展示室、収蔵庫を和紙道具専用の収蔵庫とし、事務室は既存の収蔵資料、指定文化財等の収蔵庫とする。現廊下を前室とするため、窓を封鎖。既存の空調機器を移設。電気設備工事、空調設備工事。トラックヤードの増築、屋根防水工事と棚設置工事はH30年度に実施
 今立図書館2階・・・H30年度実施工事分で、視聴覚室を古文書専用の収蔵庫に改修、会議室を作業スペースとして改修するほか、電気設備工事及び空調設備工事を実施

○備品購入費・・・紙の文化博物館2階で和紙道具を展示するにあたり、収蔵を行うための棚購入の費用

3. 経費

平成29当初予算 ①施設改修工事費 125,370千円のうち125,348千円
 ②備品購入費 11,500千円
 ①+②=136,848千円

施設改修工事費 【継続費：平成29～30年度】

	工事費	工事内容
H29	125,348	歴史民俗資料館改修工事
H30	110,047	図書館2階改修工事、トラックヤード増築工事、屋根防水工事、棚設置工事
合計	235,395	

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	【国庫】補助対象経費の1/2 補助対象経費は工事費の40.7% 【県費】補助対象経費の内、国庫分を除いた額の1/3かつ上限5,000千円	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	【工事請負費・備品購入費】 地域活性化事業債（充当率90%）
-------------------------------	---	-----------------------------	-----------------------------------

	金額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	136,848	25,000	5,000	96,100		10,748

写真・イラスト等



今立歴史民俗資料館



重要有形民俗文化財
「越前和紙の製作用具」

平成29年度 事業概要書

越前打刃物拠点施設を整備し、越前打刃物の後継者育成と技術・技能の継承を目指す

事業名		工芸の里構想推進事業 (打刃物拠点施設整備事業)		担当課	産業政策課
会 計	一般会計	費 目	商工費	予 算 書	P149
まちづくりの 5本の柱		1. 元気な産業づくり			

1. 事業の目的・効果

- ① 打刃物拠点の施設整備については、平成27年10月以降に産地と継続的に協議を行い、後継者育成の拠点として整備することを基本計画に明確化し、現在、実施設計を進めている。平成29年度上半期に工芸開放試験場を解体し、打刃物拠点施設の着工を確実に進める。
- ② 長年受け継がれてきた越前鎌やマグロ包丁の製造技術を継承する人が少なくなった現状を受け、産地では越前打刃物の技術の継承と伝統文化の保存を目的に保存会の設立を予定しており、これらの製造技術を継承していく研修の場として拠点施設を活用する。
- ③ 越前打刃物拠点施設として次の機能を持つ。
 - ・後継者育成のため、歴史に育まれた技術を保存・伝承するための研修の拠点
 - ・打刃物の素材・鍛造技術の資料の保存・収集、情報発信の拠点
 - ・打刃物のラインナップを手にとってみることができ、試し切りもできる体験の場
 - ・伝統工芸士や先駆者・功労者などの人材を紹介し、産地の誇りと自信を醸成する場

2. 事業の概要

越前打刃物の技術を保存・伝承するため、現在の工芸開放試験場を解体し、打刃物拠点施設を整備する。

【建物概要】 3棟、延べ床面積613.88㎡

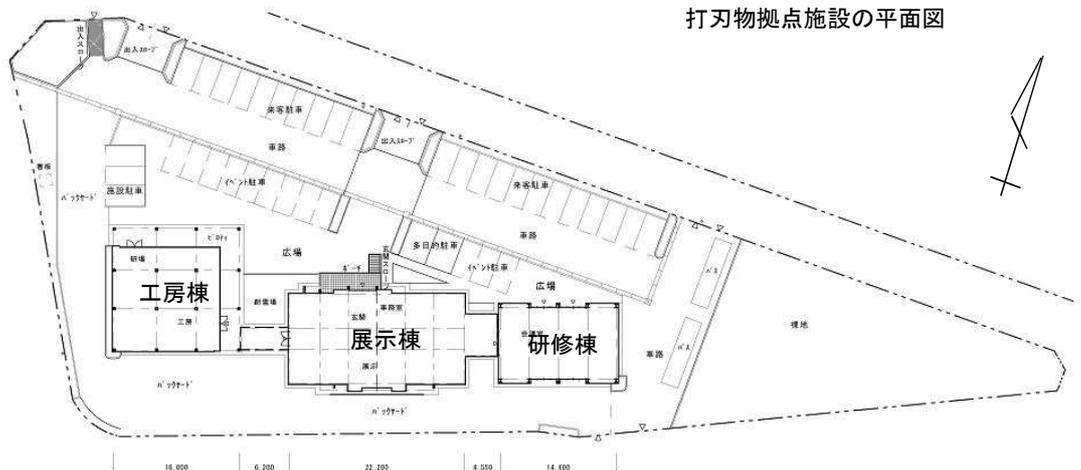
- ① 工房棟 鉄骨造瓦葺平屋建
 - ・熟練技能者（伝統工芸士）が後継者に技術、技能を継承する場（特に、鎌やマグロ包丁の技術継承）
 - ・製造機械については、試験場設置機械を継続して利用
- ② 展示棟 木造瓦葺平屋建
 - ・展示室、資料室、事務所、倉庫、その他
 - ・打刃物の歴史、技術・特色、製造工程の紹介や資料の展示
- ③ 研修棟 鉄骨造瓦葺平屋建
 - ・後継者の研修、団体観光客への説明、包丁の試し切り体験、パイヤーとの商談など

3. 経費

役務費 5,117千円 (試験場設置機械の運搬作業など)
 委託料 4,801千円 (展示映像作成業務委託など)
 工事請負費 245,000千円 (試験場解体工事、拠点施設建設工事)

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	県費 「新ふるさと創造」 推進県補助金（補助率1/2）	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	市債 地域活性化債（充当率90%）			
	金 額 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予 算 額	254,918		61,500	166,500		26,918

写真・イラスト等



平成29年度 事業概要書		越前和紙のブランド力を高め、和紙文化の発信拠点としての役割を担う																																
		事業名	紙の文化博物館展示事業		担当課	産業政策課																												
会計	一般会計	費目	商工費		予算書	P151																												
まちづくりの5本の柱		1. 元気な産業づくり																																
1. 事業の目的・効果																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・国指定の重要有形民俗文化財である「越前和紙の製作用具及び製品」や、越前和紙を愛用した日本画家の作品やそれらにまつわる書簡など越前和紙産地ならではの貴重な資料などを展示・公開する。 ・特別展を行うことで、歴史ある産地の誇りを醸成することができる。 ・全国の和紙関係者に対して、越前和紙のブランド力を再認識させ、和紙文化の情報発信施設としての役割を発揮することができる。 ・市民に対して、越前和紙の歴史と文化をわかりやすく魅力的に伝え、日常生活への浸透を図る。 																																		
2. 事業の概要																																		
本館2階展示室で、2回の特別展を開催する。																																		
<p>①10月 特別展「和紙の真髄 越前奉書の世界 その一古典編」</p> <p>内容：越前和紙の代名詞ともいえる「越前奉書」の歴史を、越前市に残る貴重な文化財を通して振り返る。</p> <p>展示品：三田村家文書など地元に残る古文書類。重要文化財の和紙道具・江戸時代の和紙。越前奉書と戦国大名、江戸幕府や福井藩との関係を示す歴史資料など</p> <p>関連行事：古文書専門家の講演会</p> <p>②2月 特別展「和紙の真髄 越前奉書の世界 その二近代編」</p> <p>内容：現代における越前奉書の主たる用途である「木版画」に着目し、越前和紙に刷られた木版画の名品を展示する。</p> <p>関連行事：木版画の摺り実演会、和紙生産者と摺師・彫師・版元の座談会</p>																																		
3. 経費																																		
<table border="0"> <tr> <td>需用費</td> <td>3,160千円</td> <td colspan="5">(展覧会図録、ポスター・チラシ印刷など需用費)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1,800千円</td> <td colspan="5">(展示借用品の輸送ほか)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,160千円</td> <td colspan="5">(収蔵資料の燻蒸作業ほか)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,127千円</td> <td colspan="5">(旅費、使用料ほか)</td> </tr> </table>							需用費	3,160千円	(展覧会図録、ポスター・チラシ印刷など需用費)					役務費	1,800千円	(展示借用品の輸送ほか)					委託料	1,160千円	(収蔵資料の燻蒸作業ほか)					その他	1,127千円	(旅費、使用料ほか)				
需用費	3,160千円	(展覧会図録、ポスター・チラシ印刷など需用費)																																
役務費	1,800千円	(展示借用品の輸送ほか)																																
委託料	1,160千円	(収蔵資料の燻蒸作業ほか)																																
その他	1,127千円	(旅費、使用料ほか)																																
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		県費 ふるさと創造プロジェクト県補助金 (補助率 10/10)		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】		その他 まちづくり事業基金繰入金 その他 図書売払収入																												
予 算 額		財 源 内 訳 (千円)																																
		金額 (千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																											
予 算 額		7,247		2,930		4,317																												
写真・イラスト等		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>紙の文化博物館の外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>博物館の内部(新しい和紙生活提案ゾーン)</p> </div> </div>																																

平成29年度 事業概要書

より親しみのある日本一のたけふ菊人形を目指す

事業名	たけふ菊人形事業	担当課	商業・観光振興課
会計	一般会計	費目	観光費
		予算書	P153

まちづくりの5本の柱 1. 元気な産業づくり

1. 事業の目的・効果

市民の広場の完成にあわせ、たけふ菊人形の会場レイアウトを見直し、会場整備・企画の充実により、入場者の増加を図る。

2. 事業の概要

- 2017菊人形会期 10月5日（木）～11月5日（日） 32日間
- 2017菊人形の特徴
 - 【会期前】
 - プレイベントの開催 5日間開催（9月16日、17日、18日、23日、24日）
 - 【会期中】
 - 有料ゾーンの縮小・・・菊人形館・菊花展示エリア、OSK公演エリア

3. 経費

たけふ菊人形事業の主な予算額（全事業費 83,495千円）

- プレイベント開催委託料 2,800千円
- 菊花展示館設営委託料 10,000千円
- 菊人形事業補助金 64,600千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】			まちづくり事業基金	
金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	83,495			64,000	19,495

写真・イラスト等



平成29年度 事業概要書

まちなかの商業活性化を図るため、重点エリアを設定し店舗改修を支援

事業名	商業活性化支援事業 (重点エリア商業活性化事業)	担当課	商業・観光振興課
会計	一般会計	費目	商工費
		予算書	P147

まちづくりの
5本の柱

1. 元気な産業づくり

1. 事業の目的・効果

●事業目的

第3期市中心市街地活性化基本計画に基づき、まちなかの商店街がまちづくり武生(株)と連携して策定した商店街活性化プランの取組みの一つである店舗改修に対し、県補助事業(おもてなし商業エリア創出事業)を活用し支援を行う。

2. 事業の概要

●対象となるエリア、業種、期間を絞り、店舗新築・店舗改修に対する補助を行う。

業種：飲食料品等小売業・飲食業・宿泊業(事務所等はNG)

エリア：①総社通り商店街 ②京町界限 ③総社表参道

期間：H29・H30年度の2カ年限定

店舗の新築・改装に係る設備投資で、対象経費2,000千円以上かつ外装工事費が1/4以上であるものが対象
補助対象経費の1/2を補助。補助対象経費の上限は6,000千円(補助額の上限は3,000千円)

3. 経費

外部専門家謝礼 185千円
重点エリア商業活性化補助金 8,000千円

●エリア内での店舗改修費への補助

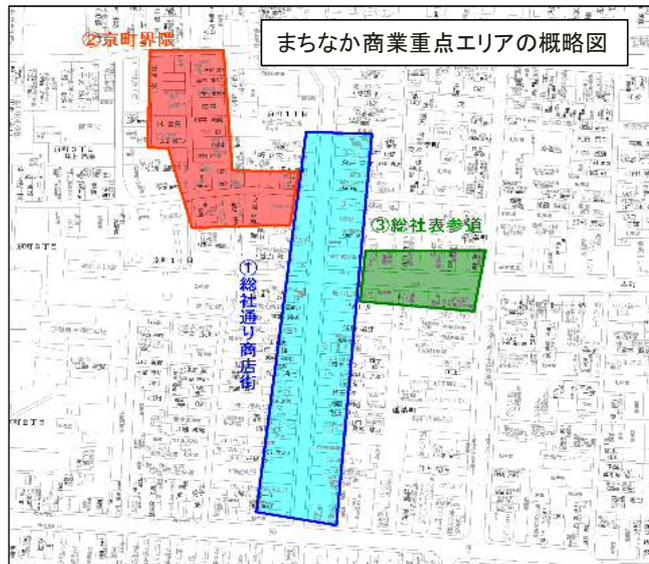
補助対象事業費 4,000千円(1件平均) × 1/2 × 4件 = 8,000千円

県補助事業「おもてなし商業エリア創出事業」を活用(市補助額の1/2を充当)

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	外部専門家謝礼 市支出額の1/2 92千円 店舗改修費 市が補助した額の1/2 4,000千円	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	まちづくり事業基金
-------------------------------	--	-----------------------------	-----------

金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	8,185	4,092		4,000	93

写真・イラスト等



平成29年度 事業概要書

いわさきちひろ生誕100年に向けた取組みを強化

事業名	観光推進事業	担当課	商業・観光振興課
会計	一般会計	費目	商工費
		予算書	P155

まちづくりの
5本の柱

1. 元気な産業づくり

1. 事業の目的・効果

平成30年のいわさきちひろ生誕100年に向け、まちなか回遊観光の取組みの一つとして、「ちひろの生まれた家記念館」を整備する。また、ちひろの生まれた家周辺の筆筒町、寺町、かこさとしふるさと絵本館、さらに平成29年8月完成予定の武生中央公園市民の広場とも連携し、伝統と暮らしが息づく武生の街並みを歩いて楽しむ観光をPRしていく。

2. 事業の概要

【ちひろの家本館】

- 1階部分は、母・文江を中心とした展示とする。
- 2階部分は、ちひろを中心とした展示とする。

【北側建物の活用】

- 1階部分は、絵本カフェとして活用する。
- 2階部分は、資料展示室として活用する。

【その他】

- 生まれた家と北側建物との連絡通路の工事
- 北側建物の要員確保（カフェの提供、土産物販売、展示物管理）

3. 経費

委託料 観光推進業務委託料18,079千円のうち11,930千円
 (1) ちひろ本館 4,900千円
 (2) 北側建物 3,830千円（絵本カフェ：1,490千円、2階展示：515千円、管理費：1,825千円）
 (3) その他 3,200千円

国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】	5,965千円 地方創生推進交付金 (11,930×1/2)	その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】				
	金額 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	11,930	5,965				5,965

写真・イラスト等



「ちひろの生まれた家記念館」
内装(2階から1階を見下ろす)

平成29年度 事業概要書		万葉の里を恋のパワースポットとして整備			
		事業名	万葉の里管理運営事業	担当課	商業・観光振興課
会計	一般会計	費目	商工費	予算書	P153
まちづくりの5本の柱		1. 元気な産業づくり			
1. 事業の目的・効果					
<p>味真野地区には、継体大王と照日の前の恋にまつわる謡曲「花筐」や、味真野に流された中臣宅守と都に残された狭野弟上娘子の間で詠まれた63首の相聞歌が万葉集に残されているなど、恋愛に関する伝説や史実が存在する。これらを活用し、「万葉の里味真野苑」の一角を「恋のパワースポットエリア」とし、継体大王像の周辺を「恋」をキーワードに整備する。</p> <p>また、縁結びの神様を祀る「味真野神社」が隣接し、周辺には、安産祈願で有名な「子安観音」、織物の神様「朽飯神社」、通称猫寺「御誕生寺」など、特徴のある社寺が存在することから、恋をキーワードに事業展開を図る。</p>					
2. 事業の概要					
<p>(1) 土木工事…継体大王像前面部のスイレン池は、コンクリート橋及び樹木等を撤去し、「継体大王と照日の前」2体一緒の銅像を見えやすくする。池の中に恋人同士が仲良く遊べるような飛び石を設ける。また、恋人が2人で歩いて誓いの場所を目指す恋人ロードをつくる。そこに、「誓いの写真スポット」を設置する。</p> <p>(2) 舗装工事…大王像前面部は、現在芝生であるが、イベント広場等として多目的に利用するため、舗装工事を行う。</p> <p>(3) 景観・植栽・排水工事…広場内に2人の愛を語り合えるベンチ、四阿、ハート形花壇を設置する。スイレンやサクラなどの鑑賞の場を作り、恋にふさわしい万葉の花を植栽する。広場の排水機能を向上させる。 ※花言葉…ナデシコ（純愛、燃える愛）、スマレ（小さな幸せ）、ゆり（純潔）、サワオグルマ（恋の便り）、あやめ（良い便り）、キキョウ（永遠の愛）など、苑内で恋愛散歩を楽しむ仕掛けを行う。</p>					
3. 経費					
○工事請負費 施設整備工事費85,430千円のうち85,000千円					
		万葉の里 味真野苑 恋のパワースポット整備事業 土木工事 (22,100千円) 舗装工事 (22,400千円) 景観・植栽・排水工事 (40,500千円)			
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		42,500千円 地方創生拠点整備交付金 (85,000千円×1/2)		その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	
				社会基盤整備基金：4,300千円 市債 一般補助施設整備等事業債 38,200千円 (充当率90%)	
		金額 (千円)			
		財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
		一般財源			
予算額	85,000	42,500		38,200	4,300
写真・イラスト等					

平成29年度 事業概要書		～新庁舎の完成に向けた行革推進【Change & Challenge】～				
		事業名	庁内情報システム管理事業 (タブレット端末整備に要する経費)		担当課	政策推進課、情報統計課 議会事務局
会計	一般会計	費目	総務費	予算書	P85	
まちづくりの5本の柱		2. 元気な人づくり				
1. 事業の目的・効果						
<p>行財政構造改革について、新庁舎の完成を見据えた平成31年度までの3年間の新プログラムを策定し、Change & Challengeの取り組み姿勢で従来の枠組みや発想にとらわれない改革の視点から市民サービスを実施していく。その中で、市議会本会議及び委員会審議、庁内会議などの資料作成において、年間20万枚の紙の使用、32万回のコピーが行われ、職員が紙資料の編綴作業等に膨大な時間を費やしていることを解消し、経費の削減を図る。</p>						
2. 事業の概要						
<p>上記の課題を改善するために、ワンタッチで会議資料を配信・共有することが可能になる文書システムを導入するとともに、場所を特定せずに活用できるタブレット端末を導入することで、諸会議の効率化はもとより、働き方改革の一環としてペーパーレスやコピーレスによる経費の削減、職員が本来すべき市民サービスという原点に力を振り向けることができる環境の整備など大きな改革を進める。</p> <p>【スケジュール】 平成29年8月 ・事業契約予定 行政側：庁内会議において順次導入を開始 平成29年9月 ・議会側：9月市議会定例会において紙を併用しながら試行 平成29年12月 ・議会側：12月市議会定例会より本格的な導入を予定</p>						
3. 経費						
<p>【初期導入時費用】 情報機器設定業務委託料9,839千円のうち2,200千円 【端末・通信等に要する経費】初年度 機器借上料79,405千円のうち4,700千円（次年度 7,050千円） 平成29年度当初予算 計 6,900千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入台数：65台（議会側26台、行政側39台） 年間維持経費については、4年契約の5年度にまたがる債務負担行為とする。（平成29年度～33年度 総額 30,400千円） 						
国庫・県支出金の内訳 【補助基本額・補助率等を明記】		財源の内訳			その他特定財源の内訳 【支出先・負担率等を明記】	
	金額 (千円)	財源の内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算額	6,900					6,900
写真・イラスト等	<p>システムの概要</p> <p>データ修正は、LGWANで実施</p>					